

「クリエイターの話 ～ 私のイメージの源泉」

スペースデザイン部会員 前田 亮二

『物作りの基本』

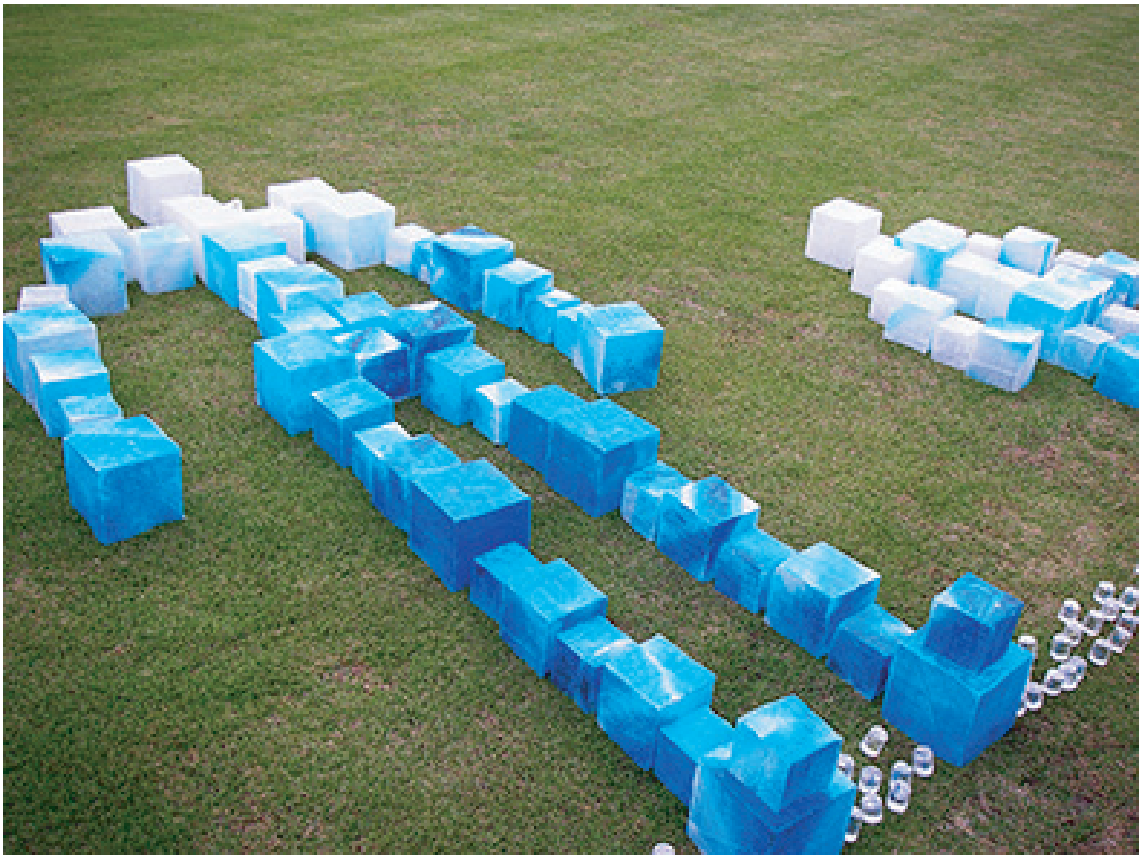
物作りの基本は楽しみでいいと思っています。子ども達のワークショップをよく行ないますが、例えば幼稚園の子ども達に材料を与えて好き勝手に工作をしてもらいます。その時、子ども達は自分の欲求に素直に自分がいいと思うもの、かっこいいと思うものを楽しみながら作ってくれます。そして、とても面白いものに仕上がります。こちらであしろ、こうしろと言うのではなく、こんなやり方もあるよと、アドバイスだけで、あとは自分で考えてくれます。物作りに関して、それでいいと思っています。それが基本だと思います。その中で培った技術をまた今後使用していき、新たな作品を生み出していきます。物作りはその繰り返しだと思います。

ただ、大人になる程しがらみが生まれてきます。(人から見られて良いもの、評価を求められるものと)その時にできるだけ子どもの頃の純粋な物作りの楽しさを考えながら制作したいと考えます。作品は自身の表現です。自身の分身です。自身で面白いと思えるものを今後も制作して行きたいです。



アオ・ソラ・ウミ (2009年) 素材：釣り糸

旧門司税関での個展作品。吹き抜けの空間に青い釣り糸を張り巡らした作品。



ササナミ君 (2009年) 素材：ティッシュペーパー、染料、樹脂

ティッシュペーパーに浸透する染料がきれいだったのでそれを樹脂で固めた作品。ただ、樹脂の耐久性が弱く現在はボロボロの状態(笑)。数年後、木工用ボンド、クリアファイルを使用することで同じような形状を作れる方法を発見。



虹色 (2019年) 素材：シルクオーガンジー、染料

ギャラリーパウゼでの個展作品。



人々（2019年）素材：型紙、シルクオーガンジー、綿布、染料

人をモチーフにした平面、立体の作品を展示し、空いた壁面のスペースには今も使用し続けている型紙（染色に使用する材料）を張り付けた作品。



前田ロボ工房（2022年）

回遊劇場 AFTER 出品作品。使われなくなったビルの一室を使用した展示。子ども達も楽しめればと思い、積み木の人形がロボットを制作している展示。



ヤサイ君 (2022年) 素材：磁器土



ブヒン君 (2022年) 素材：樹脂、部品

実際の野菜で石膏型を取り、鋳込みで仕上げたヤサイ君、廃材等の部品を樹脂で固めたブヒン君。ともに「こんなの作ってみたいなあ」といった思いから、鋳込みの方法、樹脂の使い方を実験して作った遊び事。



Square (2023 年)

ギャラリーコネクトプラスでの個展作品。ギャラリーの地下室。展示期間が冬で寒い場所だったので、「もっと寒くしよう」と思い、氷のようなオブジェを敷き詰めた作品。

前田亮二 プロフィール



- 1974 愛媛県松山市生まれ
2001 大分県立芸術文化短期大学
美術専攻科（染色）修了
2010～ 大分県立芸術文化短期大学
竹田キャンパス（旧下竹田小学校）にて居住制作

「展覧会」

- 2002～ 新制作展
(2004・2006 新作家賞、2009 会員推挙)
「国立新美術館／東京」
2012 テキスタイルの未来形
「網走市立美術館／北海道」
2013 MINIARTEXTIL（2023 同展）
「コモ／イタリア」
2014 前田亮二染色展～ロボ～
「ギャラリーマロニエ／京都」
2016 前田亮二染色展～ササナミ～
「オリエアート・ギャラリー／東京」
2019 テキスタイルアート・ミニアチュール展
(2021・2023 同展)「Gallery5610／東京」
2019 前田亮二染色展～虹色～
「ギャラリーパウゼ／東京」
2021 テキスタイルの未来形
「宝塚市文化芸術センター／兵庫」
2022 回遊劇場AFTER
「NTT府内ビル別館／大分」
2023 前田亮二染色展～Square～
「ギャラリーコネクトプラス／大分」